



岐阜盲学校キャラクター「あいパンダ」

アイアイ通信

NO. 5

見え方の相談支援センター アイアイ教室 令和6年3月11日
(岐阜盲学校内)

日ごとに暖かさを感じられる今日このごろです。岐阜盲学校では、3月8日に卒業式・修了式を、3月10日には岐阜盲学校創立130周年の記念式典を、盛況のうちに終えることができました。

さて、いよいよ今年度のアイアイ教室も残り数回となりました。4月は新年度の準備のため、アイアイ教室を1ヶ月お休みさせていただきます。次の開催は5月です。新年度も、みなさまが元気に来校されることをスタッフ一同楽しみにしています。

～アイアイ教室の様子～



ブラッシングしたり、ギュッと押さえたりして、歌に合わせていろいろな感覚を感じます。触れたり触れられたりすることに慣れることも大切です。



取ったり付けたりできる布製の絵本です。つかんで剥がすことが楽しいです。



「豆まき」の歌に合わせて鬼にボールを投げます。でも目標に向けてポイっと投げるって難しいのです。

つかんだものを手から離すといっても、ポイっと放り投げたり、落としたり、何かに向けて投げたり、誰かに渡したり、やりとりしたり・・・

楽しい活動の中で、意図的に場面をつかって、いろいろな動きが出てくるように工夫しています。動きに合った言葉も添えながら繰り返して行っています。



～「見え方の相談支援センター」から～

今回は、『視覚障害乳幼児の子育てハンドブック』から、手の機能に関する豆知識について抜粋してお伝えします。

◆「たたく」ことができて、「押せ」なかったり、「押す」ことができて「押さえている」ことができなかったりします。指の関節を伸ばしたままの同一動作の保持ができていない幼児も多く見られます。そのためにも手のひら全体に体重をかける机拭きのような生活動作や、全身を使っの粗大運動遊びなどの色々な玩具や日用品を使用する機会をどんどん持っただけいたらと思います。子ども達の「できない状況」を見ていると誤学習と言うよりも未経験のことが多いように思います。

出所：『視覚障害乳幼児の子育てハンドブック』55頁（編著：杉山利恵子・森栄子・元千葉県立千葉盲学校教諭）

盲学校で学ぶ児童生徒の様子を見て、「できない…」と感じるとき、私たちは、「できないのではなくて、やったことがないのでは…」と、まず考えます。子ども達にとって経験すること、体験することはとても大事なことで考えます。日常生活全般を通して子ども達ができるようになっていくことはたくさんあります。アイアイ教室でも、手のひら全体をしっかりと使うような活動を工夫しています。ご家庭でも手を使う経験をたくさんできるように工夫をお願いします。

～ 令和6年度「目に関する相談会」 開催予定期日と開催予定場所 ～

圏域	会場	住所	期日
東濃	多治見市総合福祉センター	多治見市太平町2丁目39-1	6月 9日(日)
中濃	関市鮎ノ瀬ふれあいセンター	関市小瀬153	6月23日(日)
可茂	坂祝町中央公民館	加茂郡坂祝町黒岩1260-1	7月 7日(日)
西濃	大垣市青墓地区センター	大垣市昼飯町270-51	7月21日(日)
飛騨	高山市総合福祉センター	高山市昭和町2-224	7月25日(木)
岐阜	岐阜盲学校	岐阜市北野町70番地1	8月28日(水)

※会場と期日に変更されることがあります。赤字は前回の通信から変更されたところです。最新の情報は岐阜盲学校ホームページでご確認ください。

※眼科医、視能訓練士、眼鏡士など目のことに関する様々な専門家がチームで相談に応じます。年に一度だけの機会ですので、育児や生活など日頃の悩みの解決を図る場として是非ご活用ください。

問い合わせ先：058-262-1271

見え方の相談支援センター(アイアイ教室) 担当：岐阜盲学校内 山田、高橋